

2019年 5月 20日

川西市議会議長 様

会派(呼称)名 市民クラブ“改革の風”

議員名 津田 加代子



管 外 調 査 報 告 書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりお届けいたします。

記

- 1 調査者氏名 岡 留美・福西 勝・中井 成郷
・谷 正充・津田 加代子
- 2 調 査 先 あかしこども財団 と 「子ども食堂」NONO
- 3 調 査 期 間 2019 年 5 月 8 日

4 調査結果の概要

別紙添付しました。

明石市への視察

実施日：2019年5月8日(水)

視察場所と時刻等

15 時～16 時 事業説明、 質疑応答等

場所 パピオスあかし 5 階 団体交流室

【出席者】 川西市議会 市民クラブ “改革の風”

津田加代子・福西勝 岡留美 中井成郷 谷正充

5 人

明石市 子育て支援課 課長 藤原 孝子さま

あかしこども財団

常務理事兼事務局長 櫻井久美子さま

課長 東瀬戸洋志さま

16 時～ JR 明石から JR 西明石 乗車 その後徒歩にて 移動

16 時 30 分～ こども食堂視察

場所：こどもレストラン nono

(明石市小久保 6-4-6 グランメゾンアニー 1 階 Mama' キッチン nono)

【出席者】 川西市議会 市民クラブ “改革の風”

津田加代子・福西勝 岡留美 中井成郷 谷正充

5 人

あかしこども財団 櫻井さま・東瀬戸さま

参考：【連絡先】 あかしこども財団 電話 078-920-9670

Fax 078-920-9671

メール info@akashi-kodomo-zaidan.jp

2019年4月23日

「あかしこども財団」御中

川西市議会

市民クラブ“改革の風”議員団

明石市 「子ども食堂事業」について

視察のお願い と その質問事項

[川西市の課題]

1. 「川西市子どもの生活実態調査」実施

調査後の施策について

①公民館を『子どもの居場所』活動の場としていく。

②しかし「子ども食堂事業」実施に当たっては、個々のNPO団体等と直接対応する。

営業許可、食品衛生法等クリアできていない実態。

2. 今後の「子ども食堂」広がる取り組みについて

現在実施している市内の場は3か所：公民館活用でNPO・地域のNPO
民間居場所・多田東コミュニティ

3. 子ども食堂としているが、子ども料理教室状態・・・個々に対応！

[今回の視察に対しての要望項目]

1. あかしこども財団の設立に至った経緯

2. あかしこども財団の主たる方向性とそれを決めていく仕組みについて

3. 財団と市担当課との関係性について

4. 財源について

5. 子ども食堂事業に特化されたことについて

6. 中核都市ではない当市が、取り組んでいく方向性について

7. 子ども食堂事業に欠けてはならない視点について

8. 子ども食堂事業以外で、子どもの生活実態から着手された取り組み事業について

9. その他

出席者：津田 加代子・岡 留美・福西 勝・中井 成郷・谷 正充

視察報告書

川西市議会 市民クラブ“改革の風”

幹事長 津田加代子(文責)

2019年5月20日提出

1、この時期・この視察先をなぜ選択したのか？

- ② 「子ども食堂」を実施してみようと、市民力も表れてきている。
- ② 川西市としても、公民館を活用して、子どもの居場所事業として子ども食堂事業等、可能であると広報し、広めていける場を設定をしている。
- ③ 県保健所と事業当事者と、事業を興すにあたっての取り決めなど細部にわたって協議事項が文章化できていない現状である。
- ④ 明石市は、中核都市になったことから、市としての取り決めを行い、子ども食堂事業実施が、やりやすくなっていると感じられた。
- ⑤ 住んでいる市の違いで、できること、できないことがあっていいのだろうか。そこにいる子どもにとって、その差は何なのだろうか。そのような問題意識をもちながら、視察先に依頼を重ねてきました。
- ⑥ 前明石市市議(尾仲利治さん)、川西市議会事務局にも丁寧な動きをして頂きまして実現の運びとなりました。あらためてお礼を申します。

2、「あかしこども財団」視察

～子ども食堂事業を語るにあたり、この財団を知ることなくしてはあり得ない構造になっておりました。～

～泉市長2期目を終えて、公約としてこられた『子ども支援』にかかわって

- ① 人口増加・・・中核都市を目指す
- ② 結果『子ども家庭センター』が市で設置可能になる。
- ③ 子どもに関わる全ての事業が、明石市単独で実践可能になる。
(県保健所なども)
- ④ 「明石のこどもは、明石でそだてる」の意識からの構想であった。
- ⑤ 実質子ども人口も増えて、全体人口増が現れてきている。

別紙資料添付：明石市人口動態

『あかしこども財団』とは

- AKASHI CHILD FOUNDATION
- 場所は、JR 明石駅前再開発ビル パピオスあかし5階
- 理事長：濱田 純一さん[明石出身] 財団職員は7人
- 2018年5月1日誕生
- すべての子どもたちを地域みんなで応援するまちづくりを進めるため全力で取り組む
- 3つの役割
 - ① 人材育成：子ども支援に関わる地域人材を増やし、育成する
 - ② ネットワークづくり：ボランティア団体、企業、市等のネットワークを繋ぐ
 - ③ 地域活動支援：子ども子育て支援の活動をサポートする
- 初年度の取り組みとして、上記3つの役割に加えて、
 - こども食堂全28小学校区への展開を打ち出しています。
 - スタートしてすぐ5・6月：立ち上げお手伝い
 - やりたいという希望があるもののどうすれば？の相談
 - 7月：28校区に誕生(37か所)
 - 9月：こども食堂研修会の開催
- こども食堂以外の事業
 - 財団設立イベント：5月5日こどもの日
 - 地域活動支援：助成交付件数 計56件
 - 親子対象のふれあいサロン
 - 地域の方と高校生の宿題支援
 - 小中学生対象の朝食調理実習
 - 働くママ応援イベント開催
 - 「あかしこども」秋まつり

3. 明石市のこども施策

明石市のまちづくりの基本理念

すべてのこどもたちを、まちのみなで、こども目線で本気で応援
【こどもを核としたまちづくり】

① 子育て世代の経済的負担の軽減

保育料(第2子以降)・医療費(中学生まで)の無料化

② 子育て環境の充実

保育所整備・少人数学級の実施・図書館の整備

③ セーフティネットの構築

児童相談所の設置・里親推進・**こども食堂の展開**

4. あかし版こども食堂について

こどもが感じる不安や心配を早期に把握し、必要な支援につなげる**気づきの地域拠点**・・・・・・**家から歩いていける所** → **全小学校校区に設置**

すべてのこどもの居場所

「食事だけでなく、学びや遊びの場」

「地域との交流の場」

「支援が必要なこどもの早期発見。児童相談所等行政機関との連携

5. こども食堂の運営

開設場所：コミセン、集会所、デイサービス、民家、レストラン、居酒屋

開設日：平日19カ所 土日19カ所

開催形態：食堂型30カ所、カフェ型（おやつでもOK）8カ所

開催頻度：月1回～2回が多い。他には週1回、2カ月に1回などあり。

料金：こども無料(統一)・大人200～500円（まかせている）

参加人数：10～30人

6. 視察をさせていただいた こどもレストラン nono さん

- ・地域の喫茶店を活用
- ・週5日、夕方から切り替えて、こども食堂に。
- ・ボランティア多数登録されている
- ・不登校から高校進学した生徒もボランティアで参加
- ・学習支援も行われている。
- ・お店には手作り販売品も
- ・この地域にはこども食堂5か所あり

7. こども食堂の開設・運営支援

開設・運営サポート・開設までの一連の流れを共有

- ・チラシ作製・配布支援
- ・衛生管理支援（講習会の案内・衛生用品配布）
- ・食材情報提供・ボランティアの紹介
- ・助成金交付

運営助成(開催時1回のみ) 1万円（市販品）

2万円（手作り食事）

特別助成（1年度につき）3万円（市販品）

5万円（手作り食事）

衛生管理助成(講習会受講料) 8千円(手作り食事)
以上など、こども食堂事業に対し、年間2000万円委託料

8. まとめ

- ・ 2期8年経過して、実りをもち、目標を定めて動いてこられた明石市。
- ・ 市長自らの提言から財団づくりに着手された。
- ・ さすがに駅前ビルの3階部分
行政の証明書発行等の窓口と子どもの雨天にも役立つ親子の遊び施設
(市民は無料/YMCA に委託。市外は300円/人)
市立図書館
そしてあかしこども財団のフロア
- ・ そしてこうしたこどもに特化した活動支援に対し、子ども支援条例を策定している。[平成28年]
- ・ 明石のすべてのこどもに対して取り組んでいこうとする明石市の地域の皆さんの願いを、目標を定めた取り組みの進行に対し、熱き思いを感じ、敬意を表すものです。
- ・ さて本市にとっての課題については
 - ① 「子どもの生活実態調査」を踏まえて、本市として整理が示されるべきと。
 - ② その上に立って、『子どもの居場所づくり』に対し、地域の方々の発想と実践が実っていくために、とりわけ『子ども食堂』事業に対し、適切なる市の誘導と指導を県保健所と共に力合わせを続けて頂きたい。また県保健所と連絡調整を心がけ、中核市ではない本市でも同様にできるよう、支援体制を作り出して頂きたい。
 - ③ 市民の力を生みだしていくためにも市としての支援を、公民館利用可にとどまらず、講習会・衛生管理支援など試みてほしいものだと感じました。
 - ④ ボランティア登録について、公の支援があるのは実に力になる。そのための講習会等の人材育成にも、公の支援を期待したい。

以上報告とします。

当日、たくさんの時間を提供下さり、具体的なさまざまな視点からの問いに対して、詳しく丁寧に教えて頂きました。課題を持って挑みまして、大いに参考にさせていただくことができます。

あかしこども財団の皆さま、市担当課の皆さま 有難うございました。